



2019年7月16日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

年金改革法案の第一回下院議会投票が行われ、事前予想を上回る賛成379票（反対131票）で承認されたことからブラジル・レアル、国債ともに買われました。一方、第二回投票については法案の一部に再度議論が必要との判断から議会休会明けの8月6日（現地）以降に延期されることとなりました。

経済指標に関しては、6月のIPCAインフレ率や5月の小売売上高などが発表されました。IPCAインフレ率は市場予想を小幅に上回りましたが、小売売上高は市場予想を下回る内容となりました。

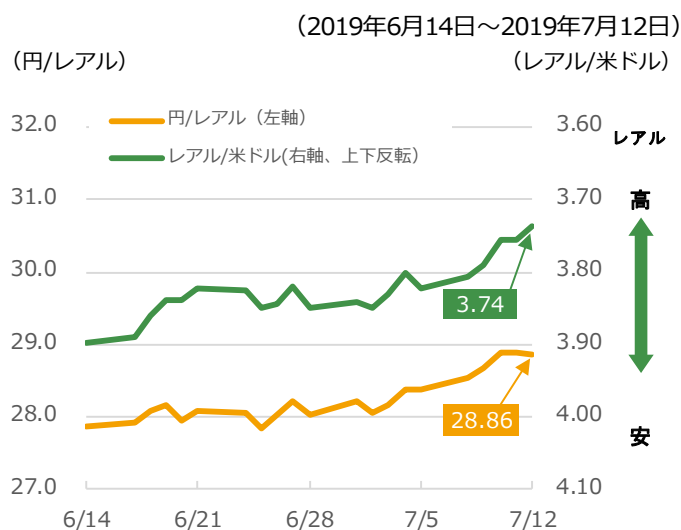
今週の見通し

今週は経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革法案については、第一回下院議会投票を賛成多数で通過したことで、法案成立への機運が高まっています。法案の成立には上院議会でも承認が必要ですが、上院議会においても賛成が多数を占めていると報じられており、年金改革法案成立まで秒読みに入ったとみています。

また、年金改革法案成立のめどが立ったところでブラジル中央銀行が金融緩和に動くともみられています。中央銀行が金融緩和に動けば、ブラジル金利のさらなる低下や経済回復の追い風となりそうです。

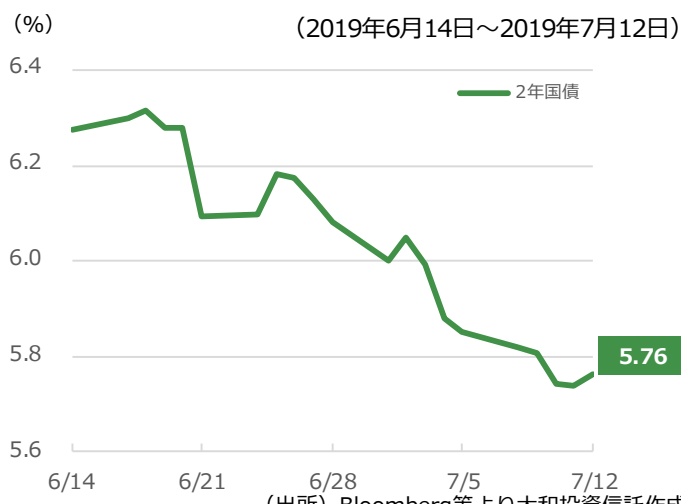
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。